

Vision project ～Visionをどのようにつくったか～

デンカの未来を築く若手メンバーが参画して、コアバリュー、パーパス、ミッションの策定と、デンカの未来について考えるプロジェクト。これまでの企業理念を見直して、経営計画「Mission 2030」の骨子となる、新たなビジョンを策定しました。



ビジョン策定プロジェクト

■プロジェクトの概要

若手メンバー44人が、3つのグループに分かれてコアバリュー、パーパス、ミッションの策定に向けた議論を行いました。初回合同セッションの後、3回のワークショップを実施し、その議論の結果を最終合同セッションで社長を含む経営陣へ提言しました。本プロジェクトの成果は、2023年度よりスタートした経営計画「Mission 2030」とデンカのあるべき姿の礎となるビジョンとして結実しました。

ワークショップ1

「デンカのコアバリュー(DNA)とは?」

「デンカのコアバリューは何ですか?」をテーマにディスカッションを開始。「化学」「未来」「社会・環境」「真摯・信頼」「化学の力」「幸福」などのキーワードが並びました。

ワークショップ2

「デンカのパーパス(存在意義)とは?」

グループごとにパーパスの議論を行いました。「デンカの存在意義とはなにか?」職場の環境・立場を越えて、より深い議論に発展しました。

ワークショップ3

「デンカのミッション(達成すべき目標)とは?」

デンカが達成すべきミッションについて、グループごとの意見集約を行いました。リーダーを中心に活気ある議論を交わしました。

最終合同セッション

「経営陣へのプレゼンテーション」

各グループが、これまでの議論を通して練り上げたコアバリュー、パーパス、ミッションを経営陣に発表。さらに経営陣の未来への想いをのせてデンカのビジョンは誕生しました。

ビジョンは単なる象徴的な言葉ではなく、経営計画「Mission 2030」と融合し、日々の行動や業務、目標設定に浸透していきます。